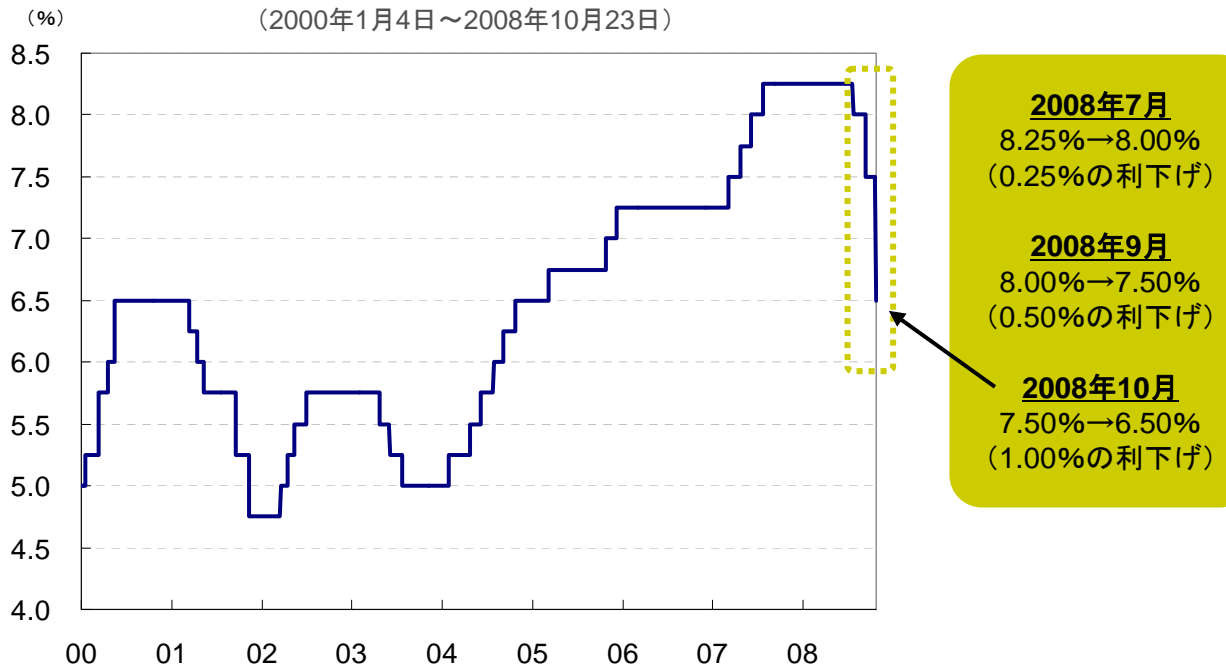


ニュージーランドの利下げと 投資環境について

ニュージーランドの中央銀行であるニュージーランド準備銀行は、10月23日、政策金利であるオフィシャル・キャッシュ・レートを1.0%引き下げ、6.5%とすることを決定しました。

ニュージーランドのオフィシャル・キャッシュ・レートの推移



※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

【利下げの背景】

ニュージーランド準備銀行のポラード総裁は、「国際金融市場の混乱と世界経済見通しの悪化が今回の決定で大きな比重を占めていた。」としており、国内景気と国内金融市場の混乱に配慮し、2008年7月以降3度目の利下げを実施したものと考えられます。

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【足元の投資環境について】

これまでは住宅を中心に内需が経済を引っ張ってきましたが、世界的な信用収縮傾向が強まる中、ニュージーランドでも実体経済の悪化が鮮明となりつつあります。

債券市場では、世界的な金融市場の混乱から、高金利国の債券市場から資金が流出する動きが鮮明となり、ニュージーランド10年債利回りは2008年9月末比で0.243%上昇（債券価格は下落）しています。

為替市場では、世界的な景気後退懸念を受けて、キャリー取引（低金利通貨で資金を調達し、高金利通貨で運用する取引）を解消する動きなどもあり、ニュージーランドなど相対的に高金利の通貨は足元で大きく売られる展開となりました。

2008年10月22日のニュージーランド金融市場の動き

	10月22日	前日比	9月末比
株価(NZX-50指数)	2,899.40	-1.8%	-6.2%
債券(10年債利回り)	5.92%	-0.003%	+0.243%
為替(ニュージーランドドル(対円))	61.16円	-3.2%	-11.8%

(信頼できると判断したデータを基に日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

【今後の動向について】

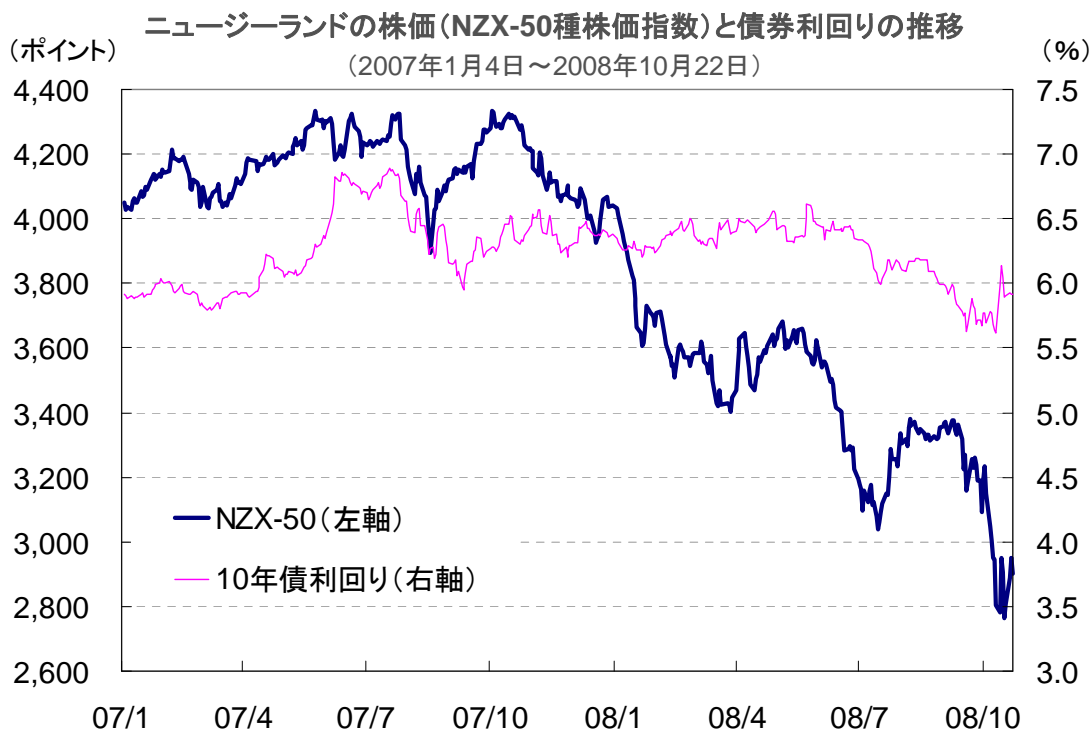
世界景気の先行き不安は、ニュージーランド経済においても企業収益の下押し圧力となることが考えられます。ニュージーランドは、同じ経済圏のオーストラリアと比較した場合、経済規模が小さく、人口もオーストラリアの2割程度であり、世界的な金融不安が深刻化する中、オーストラリアよりその影響を受けやすいと考えられます。ポラード総裁は、景気の減速傾向によりインフレが沈静化に向かう場合、一段の追加利下げの可能性を示唆しており、今後も同国の金融政策を注視していく必要があります。

今回の利下げによって金利は低下するものの、同国が依然として相対的に高金利国であることに変わりはありません。現在の世界的な信用不安が落ち着きを取り戻せば、再び同国金利の魅力が再認識されると考えられます。

以上

- 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。
- 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。

【ご参考】



(信頼できると判断したデータを基に日興アセットマネジメントが作成)

※上記グラフ・データは過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。

nikko am
fund academy

日興AM
ファンドアカデミー
とは？

投資信託を「つくる」会社、日興アセットマネジメントが
2008年にスタートした、投資教育のプラットフォーム。
「すべての投資信託に共通する大切なこと」をテーマに、
より深い理解と納得のもと購入していただくための活動を展開しています。

■ 当資料は、日興アセットマネジメントが投資環境についてお伝えすることを目的として作成したものであり、特定ファンドの勧誘資料ではありません。また、弊社ファンドの運用に何等影響を与えるものではありません。なお、掲載されている見解は当資料作成時点のものであり、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。

■ 投資信託は、値動きのある資産(外貨建資産は為替変動リスクもあります。)を投資対象としているため、基準価額は変動します。したがって、元金を割り込むことがあります。投資信託の申込み・保有・換金時には、費用をご負担いただく場合があります。詳しくは、投資信託説明書(交付目論見書)をご覧ください。